

＜コラム①＞那賀川流域における森林管理
 ～森林の多面的な機能の高度発揮に向けた取組～

那賀川流域874km²における森林面積は約782km²となっており、流域の約9割を森林が占めています。

森林は木材などの生産の場であるだけでなく、生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源のかん養、保健休養の場の提供などの多面的な機能を有しています。

那賀川では、このような森林の多面的な機能の高度発揮に向けて、伐採、間伐、造林、林道の整備、保安林の管理、治山事業、近年顕著になっているシカの食害対策などの森林の整備および保全の取組が進められています。

これらが、多面的な機能を発揮することにより、洪水・渇水の緩和や土砂流出の抑制につながることを期待されます。



森林の多面的な機能

【出典】政府広報オンライン 国産の木材を使用して、元気な森林を取り戻そう！
<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201310/3.html>

森林の整備および保全の例

間伐後の人工林



完成した林道



防鹿ネットの設置



【出典】平成29年度 管内概要 四国森林管理局徳島森林管理署

保安林の機能の例

土砂流出防備保安林

下流に重要な保全対象がある地域で林地の表面侵食及び崩壊による土砂の流出を防止します。



徳島県三好市

土砂崩壊防備保安林

崩落土砂による被害を受けやすい道路、鉄道等の上方斜面等において、林地の崩壊の発生を防止します。



北海道増毛町

【出典】林野庁HP 保安林の種類別の指定目的 http://www.rinya.maff.go.jp/j/tisan/tisan/con_2_2_3.html